

第 2 回新清水庁舎建設検討委員会 議論のまとめ

【清水駅周辺のまちづくりの方向性・新庁舎のあり方】

No.	意見要旨	対 応
1	○東西エリアをつなぐ動線の強化について、その必要性を理解し、海洋文化都市としてまちが大きくなる未来像を市民と共有していくためには、まずは清水のまちが変わることを市民に理解しやすいように見える化すること。力を合わせて新しいまちを作っていくために、マグロでもコスプレでもイベントが成功していく、ドラマティックなソフト戦略が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> 単なるハードのまちづくりだけでなく、人を集めるようなコンテンツづくりも市だけでなく民間の方々も一緒にやっていく形で進めていき、できるだけ早く形が見えるように進めていきます。 また、議事（1）資料 1-3、1-4 において、庁舎の公共空間のあり方をもとに、エリアの将来像をお示しし、皆さんからのご意見を伺いたいと考えています。

【新庁舎の機能・規模】

No.	意見要旨	対 応
1	<p>○パブリックコメントでも多かった立地に問題があるという意見に対して、リスクを避けようがない場所に建て替える方針とする場合、災害に備える努力をしなければならない。</p> <p>○清水港周辺は地震・津波リスクが常にあると思う。そのため、災害に耐えられる建物（庁舎）とすることで、海の近くに住み、津波の心配を抱える方々にも希望を与えられれば、地域の人のためになる。</p> <p>○津波浸水区域に「浸水しない空間」を作っておく発想でペDESTリアンデッキを整備するが、単にペDESTリアンデッキが「通路」として周辺とつながっているだけでなく、避難広場的な余裕のある空間を作っておくと良い。</p> <p>○日の出から駅までをデッキで全て繋いでしまえば近隣に住んでいる人たちの避難にも活用できる。</p> <p>○ペDESTリアンデッキは日常から利用できる憩いの場所であることも大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 清水都心は、津波などの災害リスクが避けられない土地でもあり、江尻エリアも例外ではないことから、新たな庁舎をこの江尻エリアに建設し、人々の命を守る施設として、災害に強い強靱なまちづくりの第一歩としていく方針は変わりありません。 そのため、災害に備えるための機能として、議事（3）資料 3-1 から 3-3 において、防災拠点としての建物構造や業務継続機能、ウォーターフロントにおける緊急避難機能についてお示しし、皆さんからのご意見を伺いたいと考えています。 議事（3）資料 3-1 において、庁舎の周囲全体に巡らせた避難デッキのイメージや、建物の内外一体となった避難スペースのイメージをお示しし、皆さんからのご意見を伺いたいと考えています。 議事（1）資料 1-3、1-4 において、庁舎の公共空間のあり方をお示しする中で、市民が日常的に使える公共空間としてのペDESTリアンデッキの活用イメージを記載しておりますので、ご意見を頂きたいと考えております。

<p>○基本方針3の②「地域資源を活かしエリアの価値を高める機能」について、清水には東海大の博物館や次郎長遺物館、埋蔵文化センターなどがあるため、それらを活用して毎月のように新しい情報を発信していくことで、ただ観光案内をするのではなく、清水の歴史文化を掘り下げつつ自然の魅力を発信することが大切である。</p> <p>○海外からの観光客に清水を観光し、お金を落としてもらうためには、ニーズや動向を把握し知恵を絞る必要がある。</p> <p>○富士山という観光資源がある限り清水のまちは永遠であり、歴史文化を熱く深く語っていくことが必要になる。</p> <p>○電子化により必要なスペースが徐々に減っていくことが予想されるため、どういった形にも作り変えられるようなスペースを準備することが重要である。</p>	<p>・議事（1）資料1-3、1-4において、基本方針を実現するための庁舎の公共空間の活用方法の一例としてお示ししました。引き続き具体的に検討していきたいと考えています。</p> <p>・まちづくりの拠点となる庁舎として、現在ある地域資源を活かしながら、清水のまちをPRしていく視点と、トレンドを把握し海外などのニーズや動向を掴んでいく視点と、バランス良く検討していきたいと考えております。</p> <p>・議事（5）資料5において、将来の変化に柔軟に対応できる庁舎計画についてお示しし、皆さんの意見を伺いたいと考えています。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【階層構成・平面計画について/土地利用・配置計画の考え方について】

No.	意見要旨	対応
1	<p>○ピロティ構造については津波対策の観点から良いという意見と悪いという意見が両方あるが専門的にはどうか。</p> <p>○民間施設の誘致について、どんな用途の施設があるのが望ましいかということ、まち全体の視点で考える必要がある。</p> <p>○災害対応の一環としてヘリポートなどの設置を検討してほしい。</p>	<p>・議事（3）資料3-1において、災害に強い建物構造についてお示しし、皆さんのご意見を伺いたいと考えております。</p> <p>・民間企業へのサウンディング調査を進め、市場性と将来性を見据え判断していきたいと考えております。</p> <p>・議事（3）資料3-3において、重傷者の緊急搬送や救援物資の搬入などのための緊急避難用救助スペースの設置についてお示しし、皆さんからのご意見を伺いたいと考えています。</p>

【PPP 導入可能性調査について】

No.	意見要旨	対 応
1	○サウンディング対象は地元企業を中心か。国際海洋文化都市を目指すのであれば、全国規模で展開している民間開発都市機構にヒアリングしてみてもよいかもしいれないと思うがいかがか。	・目的と戦略を持って幅広く調査対象を拾い、的確なところへヒアリングしていきたいと考えております。